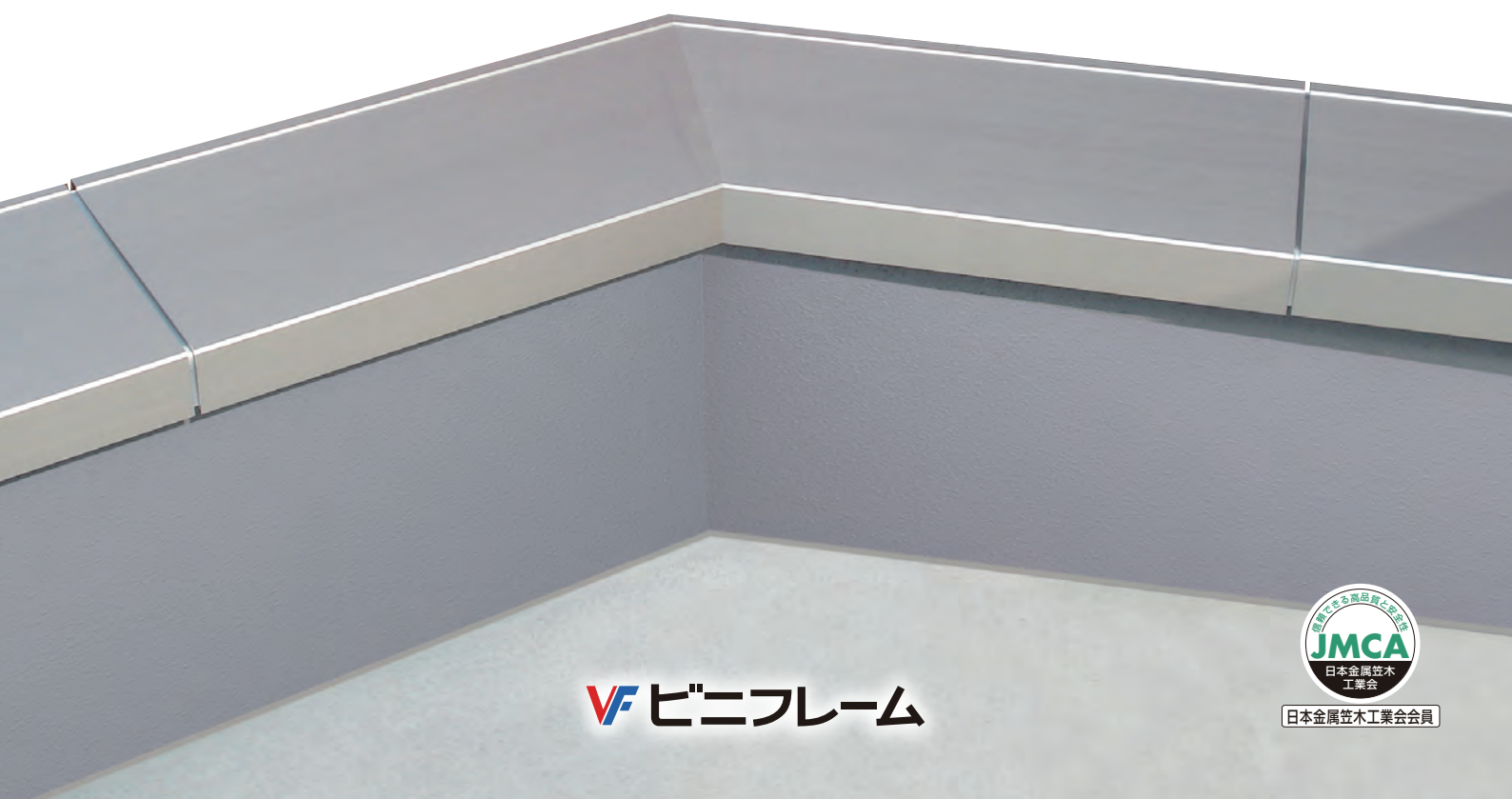


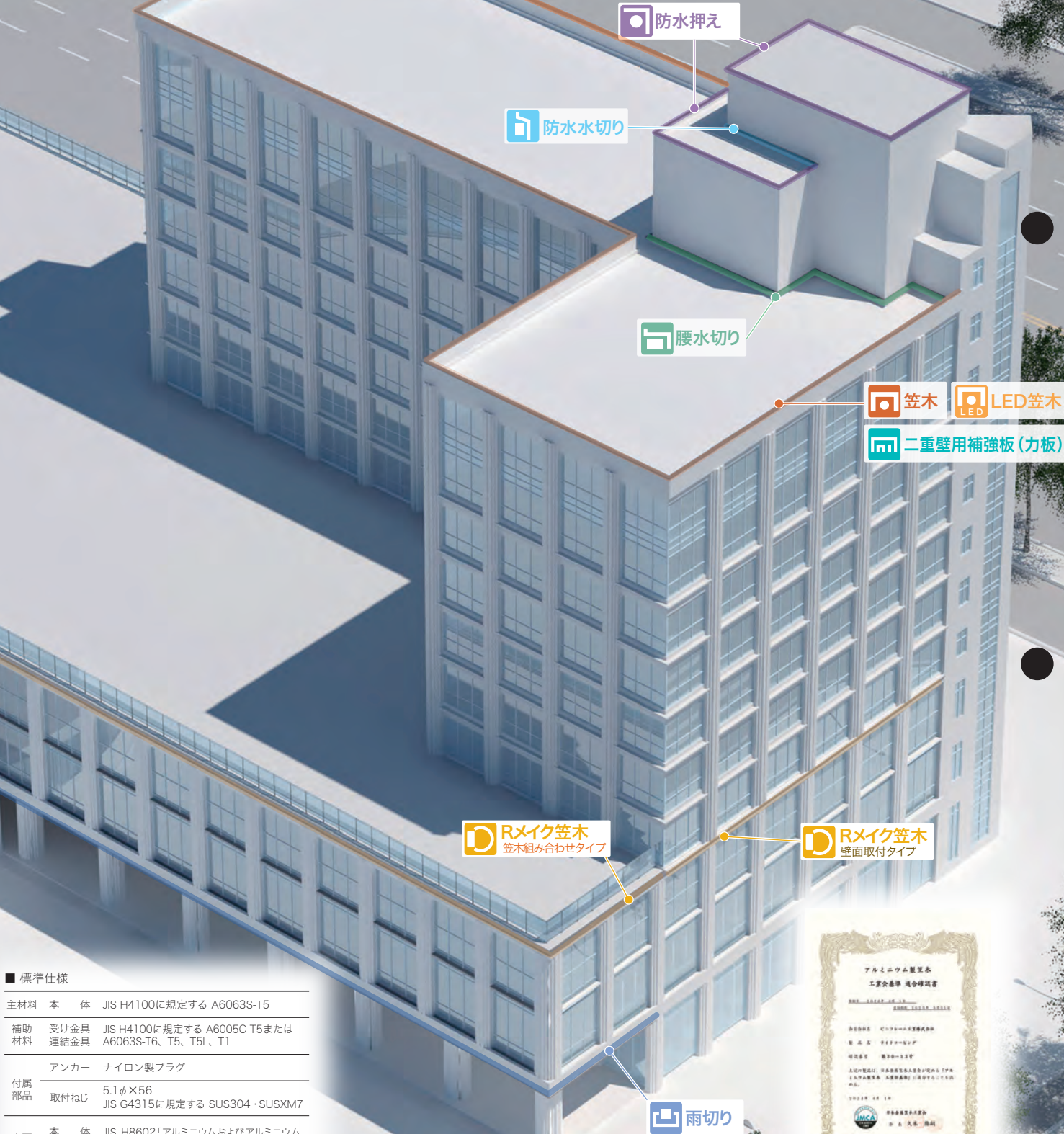
ビル用笠木

ライトコーピング



安心を生む優れた性能を備えた アルミ製外壁用金物のラインアップ

ビニフレーム工業は、日本金属笠木工業会の会員で「ライトコーピング 笠木」は、日本金属笠木工業会基準適合品です。



■ 標準仕様		
主材料	本体	JIS H4100に規定する A6063S-T5
補助材料	受け金具 連結金具	JIS H4100に規定する A6005C-T5または A6063S-T6、T5、T5L、T1
アンカー ナイロン製プラグ		
付属部品	取付ねじ	5.1φ×56 JIS G4315に規定する SUS304・SUSXM7
表面処理	本体 受け金具 連結金具	JIS H8602「アルミニウムおよびアルミニウム 合金の陽極酸化塗装複合皮膜」に規定する 種類A1（WHは種類B）



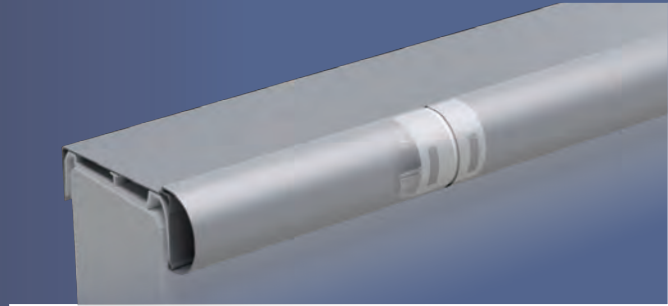
笠木 ▶P.3

景観が美しく調和する意匠性と確かな安全性を実現。



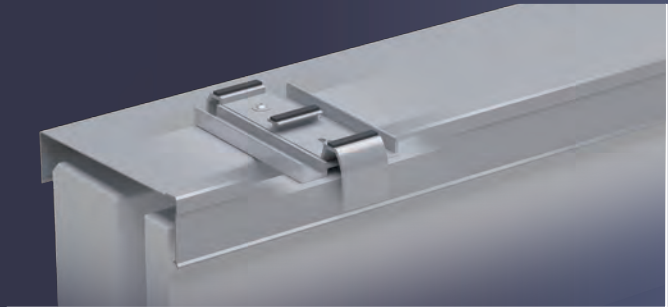
Rメイク笠木 ▶P.7

建物との一体感を演出するフォルムで、高い意匠性を確立。



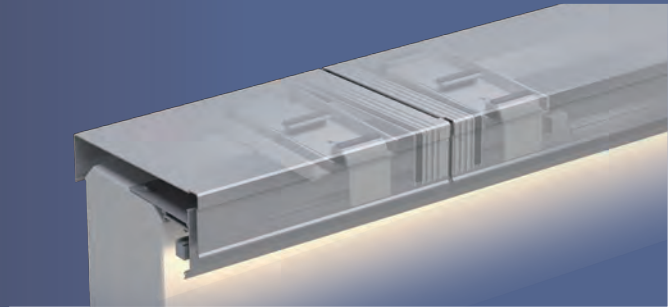
二重壁用補強板(力板) ▶P.8

強固な補強板(力板)で押出成形セメントやALCなどの二重壁にも対応。



LED笠木 ▶P.9

夜間景観に新たな彩りを添えるLED照明内蔵笠木。



雨切り ▶P.11

水切り効果で、雨水の侵入を防ぐ。



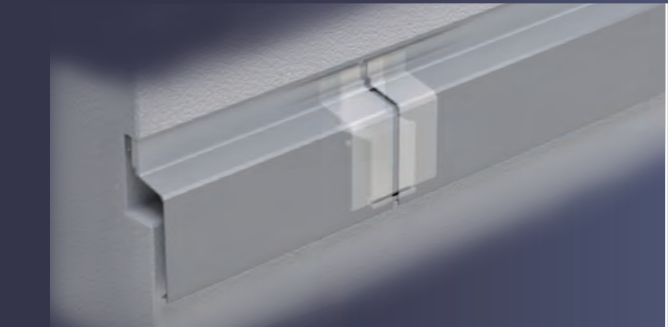
腰水切り ▶P.13

スマートなデザインで、高い水切り効果を実現。



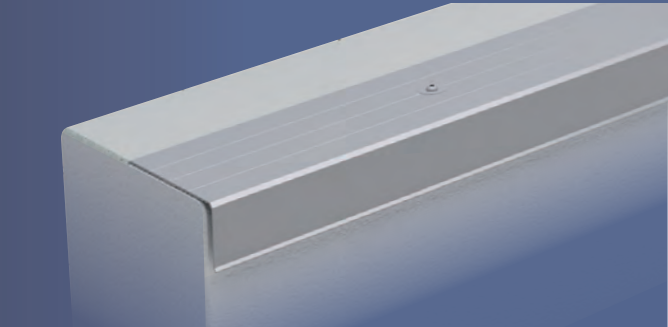
防水水切り ▶P.15

建物をしっかりガードするスマートなデザイン。



防水押え ▶P.16

機能的な雨仕舞。軒先などの雨水を処理します。





景観に美しく調和する意匠性と、
確かな安全性を実現。

カラーバリエーション

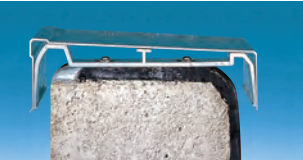
SK ツヤ消しシルバー	SC ステンカラー	UC アーバングレー	BD ツヤ消しブロンズ
BK ダークブロンズ	KC ツヤ消しブラック	WH ホワイト	

サイズバリエーション

135mm	150mm	160mm	175mm	200mm	225mm	250mm
275mm	300mm	350mm	400mm	450mm	500mm	

製品特長

135～500mmまで全タイプアルミ押出形材を使用。カバー用部品のオールアルミ化を実現！



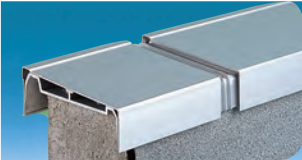
●防水性

トップ面は逆流防止形状、外部面下端は独自の形状を採用、高い水切り効果が得られます。雨仕舞が一段と向上しました。



●簡易施工

笠木本体を固定金具に引っ掛け、回転させるようにしてはめ込んで固定。



●防浸水性

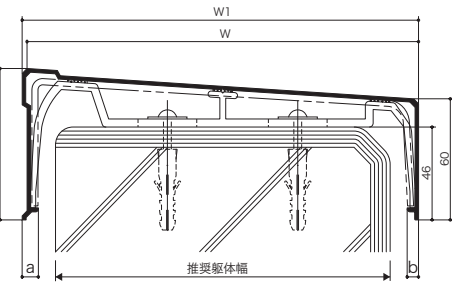
ジョイント部分は連結材のはめ込み式。コーキングレス・オープン方式なので、躯体との間に生じる空気層が、溜水・結露・凍害などを防ぎます。



●豊富なバリエーション

サイズは135～500mmまで全13タイプ。幅広い用途に適應する、充実のバリエーションをラインナップしました。

規格表



単位:mm														
直線部材	品名	笠木135	笠木150	笠木160	笠木175	笠木200	笠木225	笠木250	笠木275	笠木300	笠木350	笠木400	笠木450	笠木500
	記号	CK-0135	CK-0150	CK-0160	CK-0175	CK-0200 CZ-0200	CK-0225 CZ-0225	CK-0250 CZ-0250	CK-0275	CK-0300	CK-0350 CZ-0350	CK-0400 CZ-0400	CK-0450	CK-0500
	推奨躯体幅	95まで	110まで	120まで	135まで	160まで	185まで	210まで	235まで	260まで	310まで	360まで	410まで	460まで
	W	135.0	150.0	160.0	175.0	200.0	225.0	250.0	275.0	300.0	350.0	400.0	450.0	500.0
	W1	137.5	152.5	162.5	177.5	202.5	227.5	252.5	277.5	302.5	352.5	402.5	452.5	502.5
	a	8.4	8.4	8.3	8.4	8.8	8.8	8.3	8.8	8.8	8.8	9.8	9.3	9.3
	b	5.9	5.9	5.8	5.9	6.0	6.3	5.8	6.3	6.3	6.3	7.3	6.8	6.8
	t(肉厚)	1.3	1.3	1.3	1.3	1.5 (2.0)	1.6 (2.0)	1.7 (2.2)	2.0	2.1	2.3 (3.0)	2.4 (3.0)	2.5	2.7
	定尺	4,000												
	コーナー	記号(出隅)	CX0135-D	CX0150-D	CX0160-D	CX0175-D	CX0200-D	CX0225-D	CX0250-D	CX0275-D	CX0300-D	CX0350-D	CX0400-D	CX0450-D
	記号(入隅)	CX0135-I	CX0150-I	CX0160-I	CX0175-I	CX0200-I	CX0225-I	CX0250-I	CX0275-I	CX0300-I	CX0350-I	CX0400-I	CX0450-I	CX0500-I
	寸法	500×500						600×600			700×700			

- 躯体の(仕上り)厚さをしてください。
- 推奨躯体幅は笠木幅(W) - 40 mmとなります。
- 笠木幅により躯体の調整範囲が異なりますのでご注意ください。
- 直線部材の記号: CZ ●●●●●(厚肉タイプ)は受注生産品となります。
- アミがかり部のコーナー部品は一部受注生産品となります。

※受注生産品は非在庫品となります。詳細についてはもよりの営業所までお問い合わせください。

取付手順



1. 墨出し・穴あけ

墨出し位置にドリルで穴をあけ、専用アンカープラグを打ち込んで埋めます。
注) アンカープラグは防水層の厚み分深く差し込んでください。

使用プラグ	使用ドリル径	穴の深さ
8x40	φ8mm	55mm以上

注) 切り粉は必ず除去してください。

※定尺4,000mmに対し、切断の許容差は-0mm～+2mmです。手すり付笠木などで加工する場合は、寸法を再度ご確認ください。



2. 固定金具の取付

すべての固定金具を専用ステンレス製ねじで仮止めし、各固定金具の端部を一直線上に揃えて、出入り・高低・傾きをレベルプレートなどで調整し、本締めしてください。
注) ねじ頭部分には必ずコーキングしてください。



3. 連結材の取付

連結材を笠木に差し込みます。連結材の中央部にあるガイドライン用Vミソの位置まで差し込んでください。



4. 笠木の取付

笠木本体を固定金具に引っ掛け、回転させるようにしてはめ込んでください。完全にはめ込まれたかどうか、下端部をチェックしてください。
注) 笠木の取付は、コーナー部部部から先に取り付けてください。

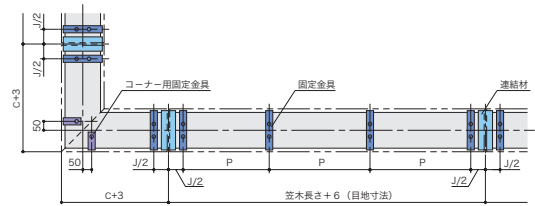


5. 確認・完了

笠木と固定金具、連結材のかん合状態を確認して、取り付け作業は完了です。

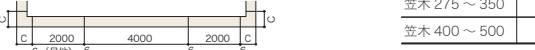
割付

固定金具

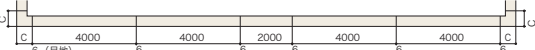


笠木

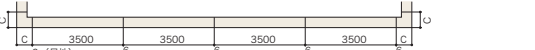
- 躯体のセンターより定尺で両サイドに割り付ける。



- 両サイドより定尺で割り付ける。



- 直線部を均等に割り付ける。



品名	コーナー寸法 (C)	固定金具芯々寸法 (J)
笠木 135 ～ 250	500	166
笠木 275 ～ 350	600	
笠木 400 ～ 500	700	171

固定金具の確認

風圧力の算出について

平成12年建設省告示第1458号に定められる「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」を適用し算出しています。なお、笠木のピーク風力係数はピーク風力係数算出試験結果（日本建築総合試験所）より「-3.5」を適用します。

※日本金属笠木工業会『アルミニウム製笠木「強度計算」の手引き』より → URL:<http://www.apajapan.org/jmca/pdf/tebiki.pdf> (左記URLよりご覧いただけます)

固定金具の数量・取付ピッチは ①～④ の順番で確認してください。

① 基準風速の確認

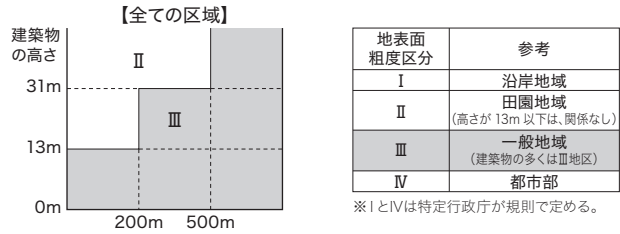
表1 簡易基準風速早見表

都道府県	基準風速	都道府県	基準風速	都道府県	基準風速	都道府県	基準風速	都道府県	基準風速	都道府県	基準風速	都道府県	基準風速	都道府県	基準風速
北海道	36	福島県	30	東京都(除島)	34	福井県	32	三重県	34	和歌山県	34	徳島県	38	長崎県	36
青森県	34	茨城県	36	滋賀県	34	山梨県	32	滋賀県	34	鳥取県	32	香川県	34	熊本県	34
岩手県	34	栃木県	30	神奈川県	36	長野県	30	京都府	32	島根県	34	愛媛県	34	大分県	32
宮城県	30	群馬県	30	新潟県	32	岐阜県	34	大阪府	34	岡山県	32	高知県	40	宮崎県	36
秋田県	34	埼玉県	34	富山県	30	静岡県	36	兵庫県	34	広島県	34	福岡県	34	鹿児島県	46
山形県	32	千葉県	38	石川県	30	愛知県	34	奈良県	34	山口県	34	佐賀県	34	沖縄県	46

※平成12年建設省告示第1454号による。市町村の基準風速を求める場合は、平成12年建設省告示第1454号を参照。

② 地表面粗度区分の確認

表2 建築物立地条件と地表面粗度区分



(海岸線または湖岸線からの距離)

※「海岸線または湖岸線」は対岸までの距離が1500m以上のものに限る。

③ 風圧力の確認

表3 風圧力早見表

基準風速 (m/s)	30	32	34	36	38	40	42	44
高さ (m)	III	III	III	III	III	III	III	III
10	1192	1356	1531	1716	1912	2119	2336	2563
15	1402	1595	1800	2018	2249	2492	2747	3015
20	1573	1789	2020	2264	2523	2795	3082	3382
25	1719	1956	2208	2476	2758	3056	3370	3698
30	1849	2104	2375	2663	2967	3288	3624	3978

※「高さ」は建物高さとして製品取付地上高さのどちらか高い方を選択してください。

※詳細は建設省告示第1454号・1458号をご参照ください。※風速は表1 簡易基準風速早見表をご参照ください。

④ 固定金具数・取付ピッチの確認

③で確認した風圧力と該当する笠木サイズより固定金具数および取付ピッチをご確認ください。

表4 固定金具数早見表

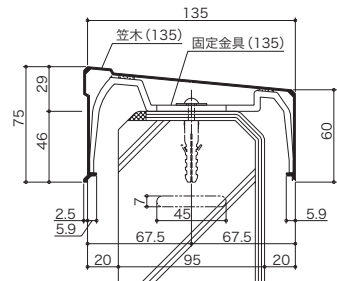
笠木	CK-0135	CK-0150	CK-0160	CK-0175	CK-0200	CK-0225	CK-0250	CK-0275	CK-0300	CK-0350	CK-0400	CK-0450	CK-0500
風圧力 (N/m)	固定金具数	固定金具数	固定金具数	固定金具数	固定金具数	固定金具数	固定金具数	固定金具数	固定金具数	固定金具数	固定金具数	固定金具数	固定金具数
500	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)
1000	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)
1500	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)
2000	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	4 (P=1280)	5 (P=960)	5 (P=960)	5 (P=960)
2500	4 (P=1280)	4 (P=1280)	5 (P=960)	5 (P=960)	5 (P=960)	5 (P=960)	5 (P=960)	5 (P=960)	5 (P=960)	5 (P=960)	6 (P=768)	6 (P=768)	6 (P=768)
3000	5 (P=960)	5 (P=960)	5 (P=960)	5 (P=960)	5 (P=960)	5 (P=960)	6 (P=768)	6 (P=768)	6 (P=768)	6 (P=768)	7 (P=640)	7 (P=640)	7 (P=640)
3500	5 (P=960)	6 (P=768)	6 (P=768)	5 (P=960)	6 (P=768)	6 (P=768)	6 (P=768)	6 (P=768)	6 (P=768)	6 (P=768)	7 (P=640)	8 (P=549)	8 (P=549)
4000	6 (P=768)	6 (P=768)	6 (P=768)	6 (P=768)	6 (P=768)	7 (P=640)	7 (P=640)	7 (P=640)	7 (P=640)	7 (P=640)	8 (P=549)	8 (P=549)	9 (P=480)

※記載の数値は定尺4,000mmあたりの固定金具数を示します。

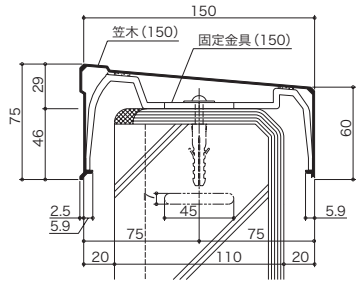
※()内の固定金具ピッチは、定尺4,000mmあたりを固定金具数で均等割りとした場合の数値です。

※躯体がRC下地の場合の数値です。RC下地以外の場合は、もよりの営業所までお問い合わせください。

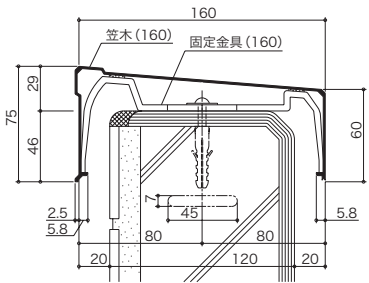
CK-0135



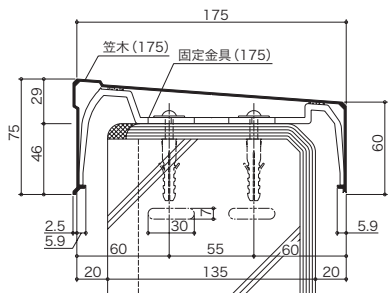
CK-0150



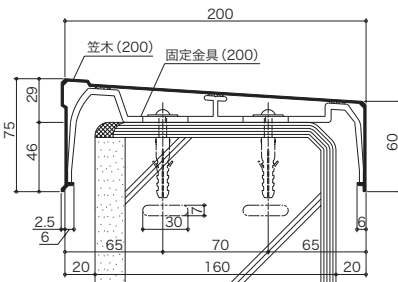
CK-0160



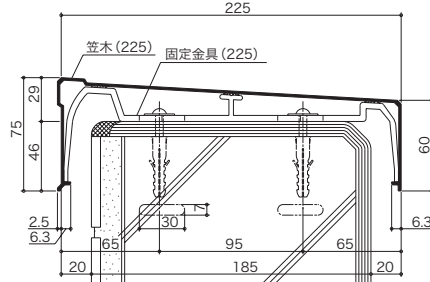
CK-0175



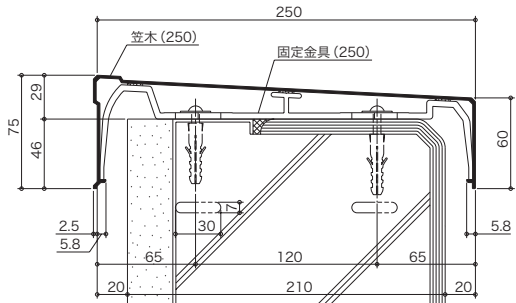
CK-0200



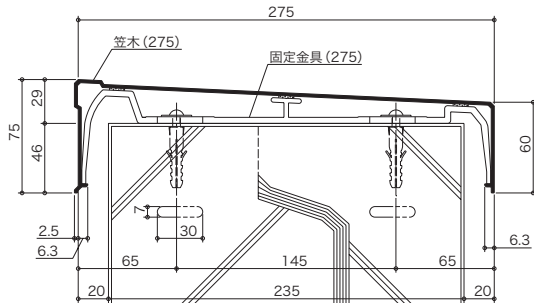
CK-0225



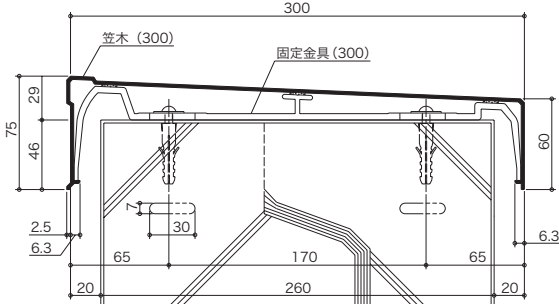
CK-0250



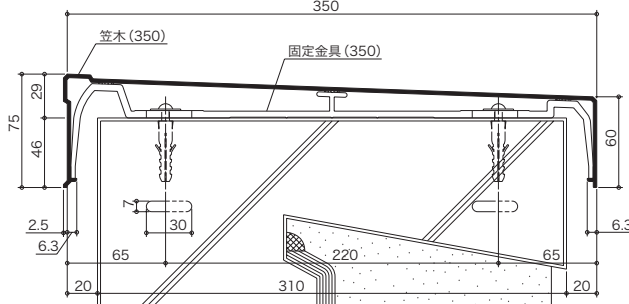
CK-0275



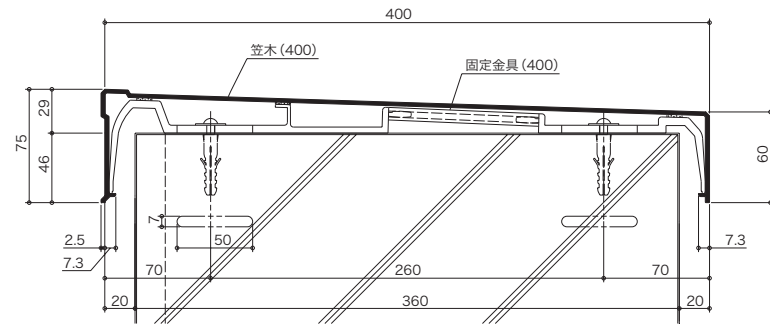
CK-0300



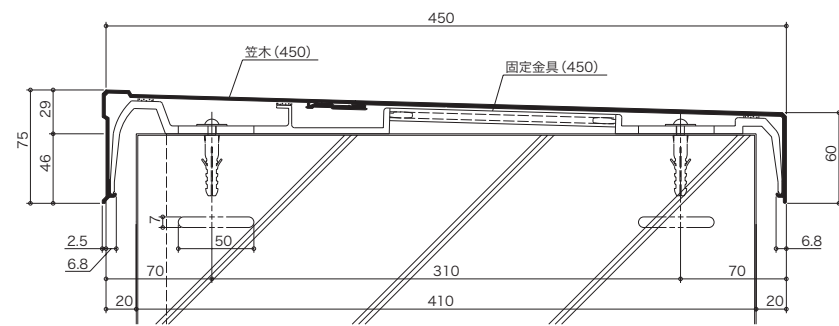
CK-0350



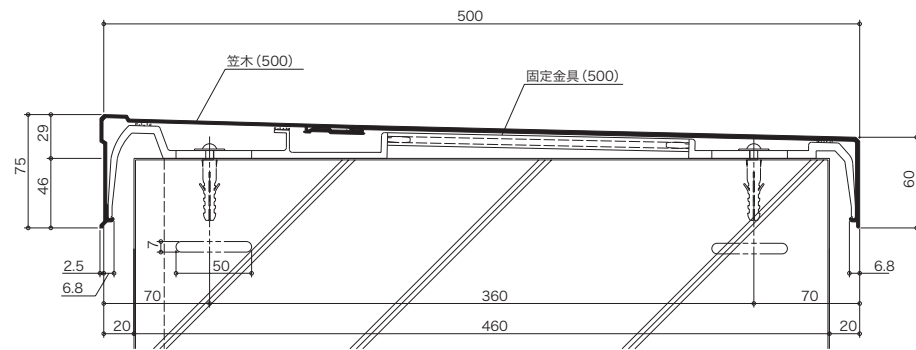
CK-0400



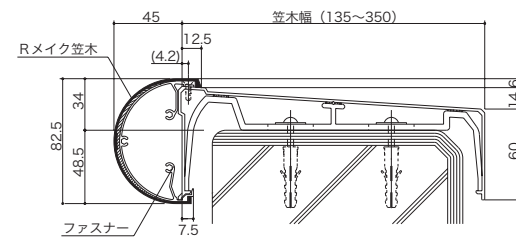
CK-0450



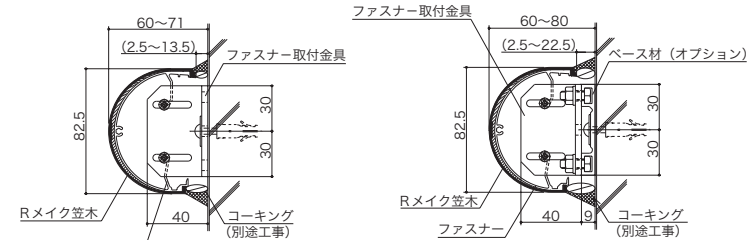
CK-0500



笠木組み合わせタイプ



壁面取付タイプ



ベース材（オプション）使用図

Rメイク笠木

建物との一体感を演出するフォルムで、高い意匠性を確立。

カラーバリエーション

SK
ツヤ消しシルバー

製品特長

- 高い意匠性、豊かなデザイン性
建物に取り付けることにより、意匠性・デザイン性を高め、外観に高級感を演出します。
- 簡単なかん合方式
ファスナーにはめ込むだけのワンタッチ方式なので、スピーディに仕上がります。

- 用途に応じたバリエーション（幅広い用途に合わせて、2種類をご用意しました。）

笠木組み合わせタイプ

笠木幅135～350タイプに取り付けできます。後付けも可能です。

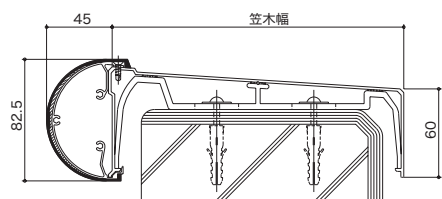
壁面取付タイプ

レベル出し機構により、レベル出しが簡単で施工性が向上します。また、壁面のアクセサリとしてもご使用できます。

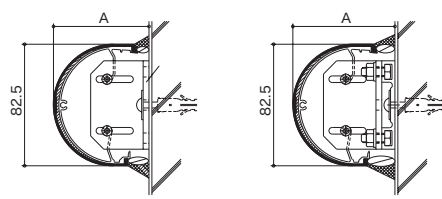
※笠木組み合わせタイプと壁面取付タイプは同一デザインとなっておりますので、セットでご使用いただければ、建築物との一体感・統一感を演出できます。

規 格 表

笠木組み合わせタイプ



壁面取付タイプ



ベース材（オプション）使用図

単位:mm			
直線部材	品名	笠木組み合わせタイプ	壁面取付タイプ
	記号	DK-0080	
	A ベース材有り		60～80
	寸法 ベース材無し		60～71
コーナ―	t(肉厚)	1.2	
	定尺	4,000	
	記号(出隅)	DC0080-DS	
	記号(入隅)	DC0080-IS	
コーナ―	寸法	400×400	

注) コーナ―は溶接仕様ではありません。
形材(45°切断)+樹脂カバーのセット品となります。
●笠木組み合わせタイプはCK-0135～350に対応します。
(厚肉タイプはCZ-0200～250対応となります)
●ベース材はオプションとなります。
●コーナ―部品は受注生産品(非在庫品)となります。
※詳細についてはもよりの営業所までお問い合わせください。

取付手順

笠木組み合わせタイプ



1. 笠木の取付
アンカープラグセットにより固定金具を固定し、笠木を取り付けてください。
(P.3参照)



2. ファスナーの取付
ファスナー位置の墨出しを行い、笠木にファスナーをさらテクスで取り付けてください。



3. Rメイク笠木の取付
本体をファスナーの下部に引っ掛け、回転させるようにしてはめ込んでください。



4. 確認完了
Rメイク笠木とファスナーのかん合状態を確認して取付作業は完了です。

壁面取付タイプ



ファスナー取付金具直付納まり



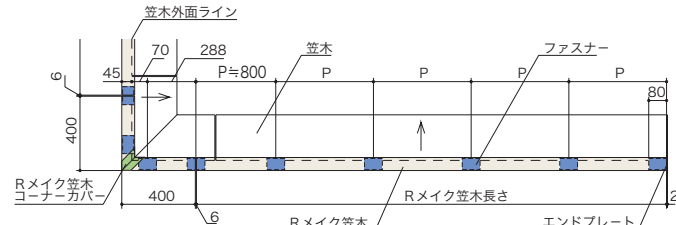
ベース材（オプション）使用納まり

注) ジョイント部およびエンドプレート周りには、コーキングが必要です。(別途工事)

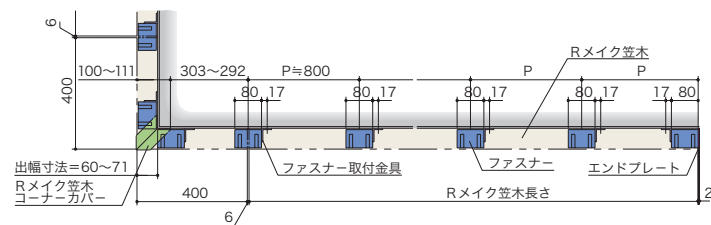
割 付

【注意】笠木とRメイク笠木の目地位置は必ず、ずらしてください。

笠木組み合わせタイプ



壁面取付タイプ

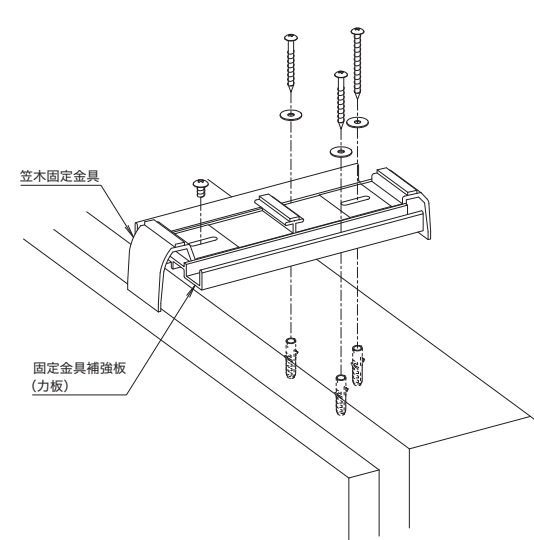
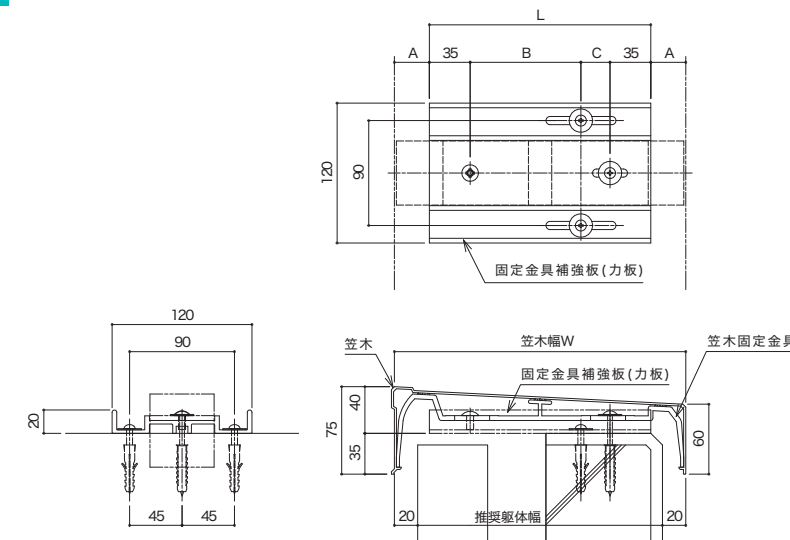


二重壁用補強板(力板)

製品特長

- 強固な補強板(力板)で押出成形セメントやALCなどの二重壁にも対応

規 格 表



単位:mm							
笠木W	250	275	300	350	400	450	500
L	190	215	240	290	330	380	430
A	30	30	30	30	35	35	35
B	95	110	125	135	150	180	180
C	25	35	45	85	110	130	180

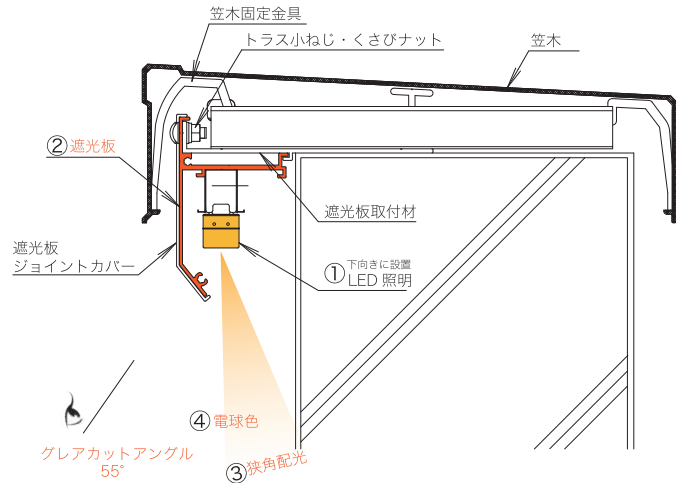
LED笠木



夜間景観に新たな彩りを添える
LED照明内蔵笠木。

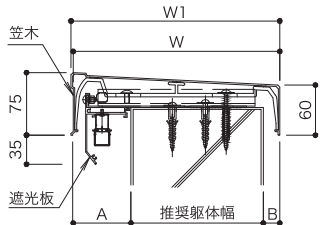
LED笠木の技術ポイント

LED笠木 ライトコーピングは光害に配慮したライトアップを実現するために、以下の点に留意しました。



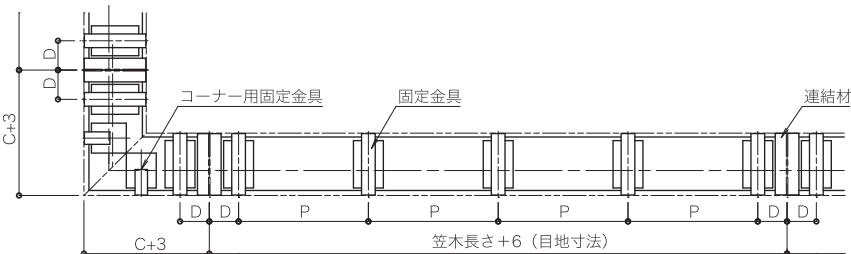
- ① 空に向けての配光を避けた下向き配光にし、漏れる光が少ない設計
 - ② 遮光板を設置し、歩行者が見上げた時に、眩しく感じさせないよう配慮
 - ③ 狭角配光の照明器具で、光害と眩しさの課題を同時解決し、最大の照明効果を実現
 - ④ 電球色を選ぶことができ、生体リズムに影響を与えないように配慮
- タイマーや調光の設定で、活動時間に応じた適した明るさに調節可能

規格表



品名	笠木 250	笠木 275	笠木 300	笠木 350	笠木 400	笠木 450	笠木 500
記号	CK-0250	CK-0275	CK-0300	CK-0350	CK-0400	CK-0450	CK-0500
推奨躯体幅	160まで	185まで	210まで	260まで	310まで	360まで	410まで
W	250	275	300	350	400	450	500
W1	252.5	277.5	302.5	352.5	402.5	452.5	502.5
A	70以上						
B	20以上						

固定金具の割付

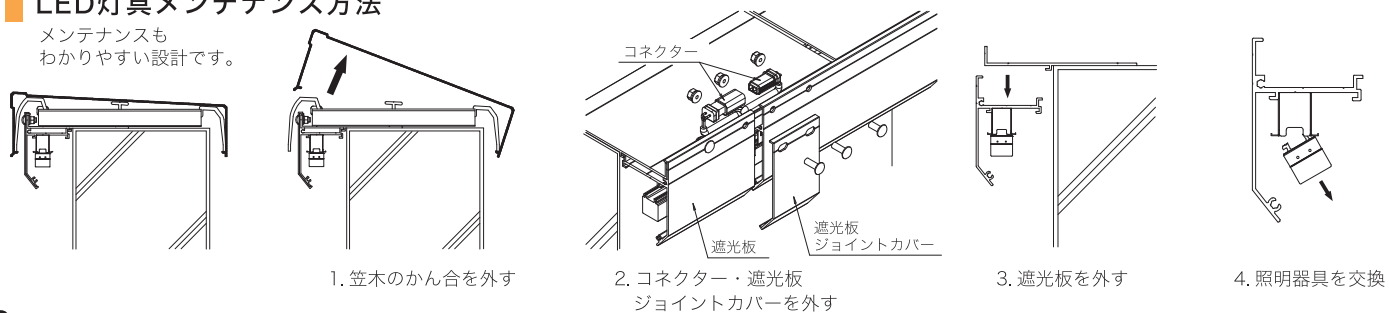


- ・笠木固定金具の割付ピッチは、各物件（地域、建物高さ、笠木取付高さ）により異なります。
- ・あらかじめ物件の仕様をご確認の上、笠木固定金具の割付ピッチを決定してください。

品名	コーナー寸法(C)	D寸法
笠木250	500	117.5
笠木275-350	600	127.5
笠木400-500	700	130

LED灯具メンテナンス方法

メンテナンスも
わかりやすい設計です。



「光害」に配慮したライトアップ手法

※光害(ひかりが害)：照明の設置方法や配光が不適切で、景観や周辺環境への配慮が不十分のために起こる様々な影響

LED笠木が必要な背景

現在、ライトアップは、美しく風格のある首都東京の実現を目指す「東京景観計画」の策定など、都市景観の一つとして重要なファクターになっています。その一方で、手法や適度な明るさから逸脱するとエネルギーの無駄だけでなく、人間の生体リズムや野生動物の生態系にまで影響を及ぼしてしまいます。したがって、光害に配慮した優良な個々の建物のライトアップが求められているのです。

○主な光害の例

引用：環境省「光害について」<https://www.env.go.jp/air/life/hoshizorakansatsu/observe-5.html>（2022年7月15日閲覧）



エネルギーのムダ

過剰な明るさや不必要な方向に漏れる光はエネルギーの無駄。デザインを工夫するなど明るさに頼らないことも大事。



居住者への影響

人工照明の光が住居内へ強く差し込むと、居住者の安眠、プライバシーに影響を及ぼす可能性も。



野生生物への影響

野生生物には光に引き寄せられたり、逆に光を嫌って逃げていくなど様々な影響がある。

この他にも以下のような影響があります。
交通への影響
ドライバーにも歩行者にもまぶしさは安全性の低下に繋がる。
研究・教育活動への影響
人工照明の光が上方向に漏れ、星が見えにくくなることで天文観測に影響が生じている。
植物への影響
街路樹など植物や農作物によって光の影響を受け、生長に影響を及ぼす場合もある。

光害に配慮したライトアップとは？

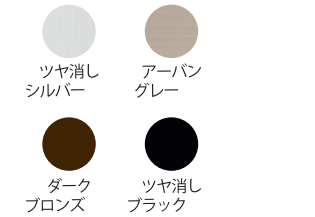
光害に配慮した優良な建物とはどのようなものかを考えるにあたり、「適切な屋外照明の5原則」を参考にしました。この5原則を満たすものが「光害に配慮したライトアップ」と考えられます。

引用：INTERNATIONAL DARK-SKY ASSOCIATION「責任ある屋外照明の5つの原則」
<https://www.darksky.org/wp-content/uploads/2021/03/Light-to-Protect-the-Night-Japanese.pdf>（2022年7月8日閲覧）

適切な 屋外照明の 5原則	必要性	光の向き	光の量	制御	光の色
	その照明は本当に必要か。	必要な場所だけを照らす。 基本は下向き。	必要最小限の明るさで使う。	必要な時間だけ点灯するようにコントロール。	可能な場合は 低色温度の光を使う。
LED笠木 (当社評価)	ライトアップを 目的とする	下向き照射・ 狭角配光あり	明るすぎない・ 調光可能	タイマー等による 消灯や調光が可能	電球色あり

豊富なバリエーション展開

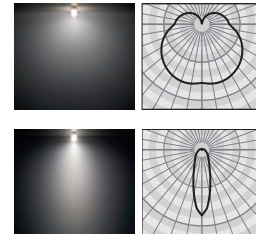
笠木カラーラインアップ



※遮光板は3色(SK, UC, KC)の設定となります。
笠木がBKの場合は、KCの遮光板を使用してください。

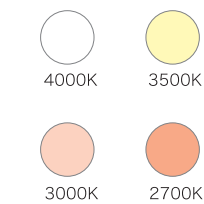
2種類の配光ラインアップ

- 拡散配光**
壁面を柔らかい光で美しく照らす
- レクタングル配光(狭角配光)**
伸びのある光でより遠くまで照らす



単色タイプは4種類の光色ラインナップ、調色タイプも

・単色タイプ



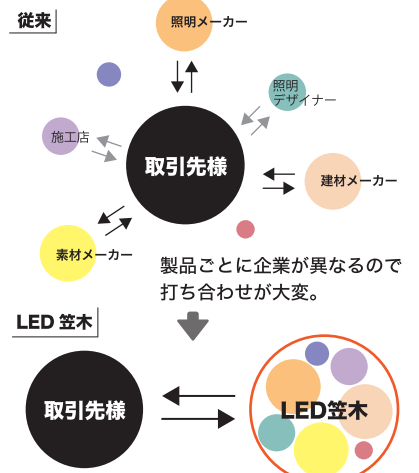
・調色タイプ

無線制御システム「Smart LEDS システム」を使った調光調色が可能です。時間帯や素材に適した明るさと色温度やカラーを設定できます。ご要望の際はご相談ください。



設計と施工の省力化

ワンストップのご対応を可能にします
従来は、製品やカテゴリごとに打ち合わせをする必要がありました。照明を内蔵した『笠木』なら一度にまとめてご提案致します。

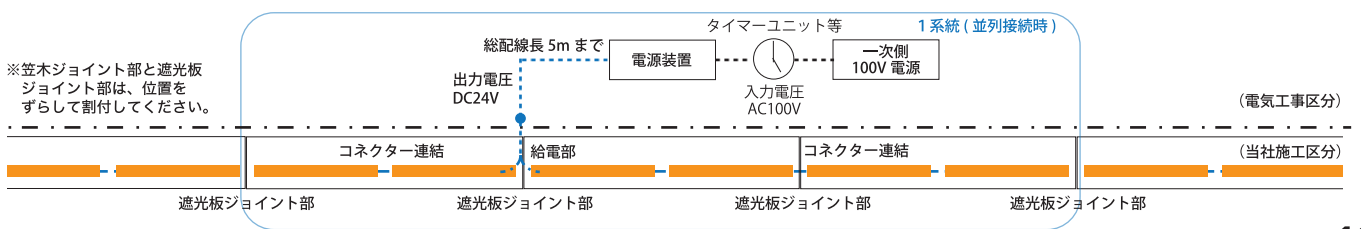


『LED笠木』は納まりや照明効果をワンストップでご提案。設計と施工の省力化につながります。

製作制限（単色タイプ）

※調色タイプの場合や総配線長が5mを超える場合は、別途お問い合わせください。

モジュール電力最大値の合計＜電源装置の電力最大値まで灯具を接続できます。
RX405NCの場合72W、RX406NCの場合48Wまで接続可能 ※目安L=1200(1.9W)を6本使用、11.9W×6=71.4W<72W、総配線長は5mとなります。プランにより系統は異なります。当社でプランにあった配線系統のご提案をいたします。



雨切り

水切り効果で、
雨水の浸入を防ぐ。

カラーバリエーション

SK ツヤ消しシルバー	SC ステンカラー	UC アーバングレー	BD ツヤ消しブロンズ
BK ダークブロンズ	KC ツヤ消しブラック	WH ホワイト	

サイズバリエーション

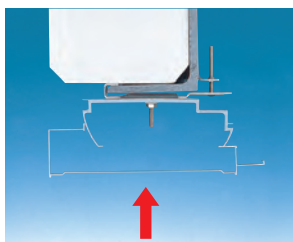
65mm 135mm

製品特長

より充実した機能に、大きな安心感をプラス。

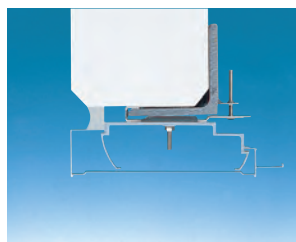
●簡単なかん合方式

固定金具に、はめ込むだけのワンタッチ方式なので、スピーディかつ確実に仕上がります。また、65×65、75×75のどちらのアングルにも固定金具の取付が可能です。



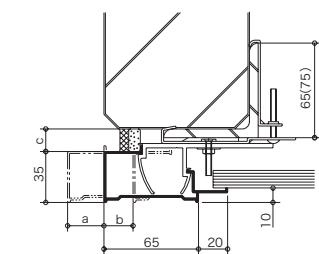
●合理的な防水設計

雨切りの下端部は突起形状になっているため、高い水切り効果があります。排水性も良く、雨水などによる破損や汚れから外壁を守ります。

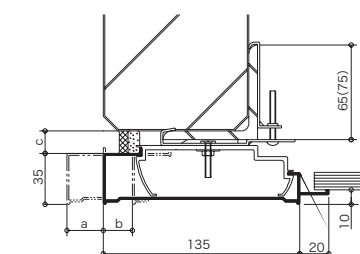


規格表

NK-0065



NK-0135

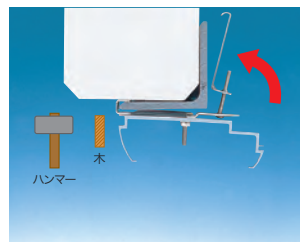


単位:mm

	品名	雨切り 65	雨切り 135
	記号	NK-0065	NK-0135
直線範囲	a寸法	0 ~ 24	
	b寸法	0 ~ 20	
	c寸法	15 ~ 30	
	t(肉厚)	1.3	
	定尺	4,000	
コーナー	記号(出隅)	NX0065-D	NX0135-D
	記号(入隅)	NX0065-I	NX0135-I
	寸法	500×500	

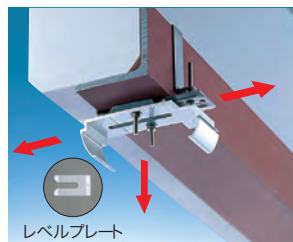
●上記調整範囲はアングルL-65×65×6に取り付けの場合となります。
●アミがかり部のコーナー部品は一部受注生産品(非在庫品)となります。
※詳細についてはともりの営業所までお問い合わせください。

取付手順



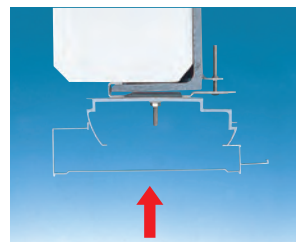
1. 固定金具の取付

ALC板下端の下地アングルに固定金具を引っ掛け回転させるようにして取り付けてください。(下地アングル65×65×6と75×75×6は別途工事)



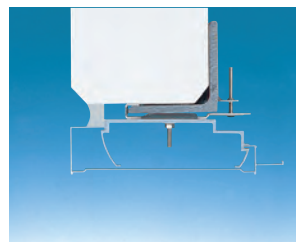
2. 固定金具の調整

取付金具の出入りおよび高さを調整します。高さ調整にはレベルプレートをご使用ください。



3. 雨切りの取付

雨切りを固定金具に押し付けるようにしてかん合してください。連結材はあらかじめ差し込んでおきかん合後、目地中心部にスライドさせてください。

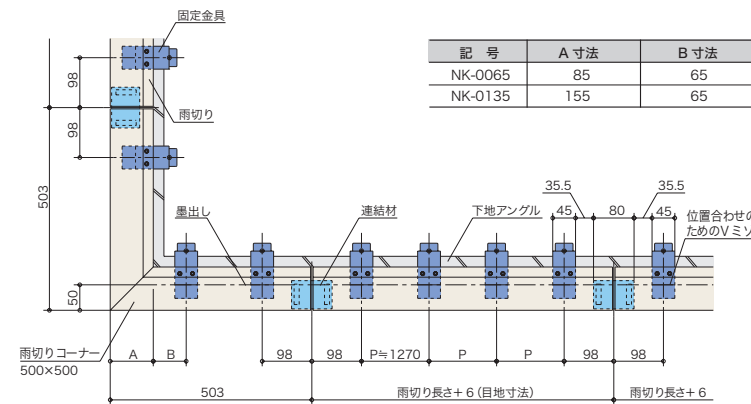


4.各部材の確認

各部材の納まり具合を点検して、取付作業は完了です。

注) 躯体との隙間、雨切りのジョイント目地およびエンドプレート周りにはコーキングが必要です。(別途工事)

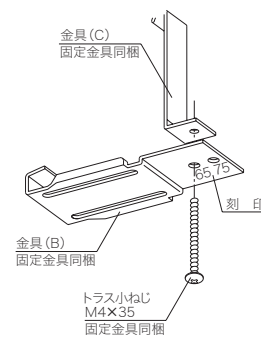
割付



取付要領

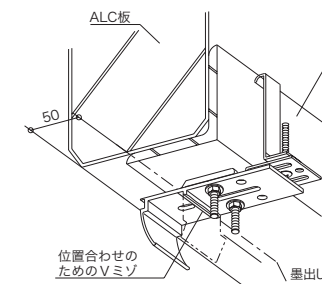
1. 固定金具の組立について

固定金具締め付けねじ(トラス小ねじM4×35)はスチールアングルL-65×65×6に取り付ける場合は、*65*の刻印の穴位置に取り付けてください。(L-75×75×6の場合は*75*の刻印の穴位置に取り付けてください。)



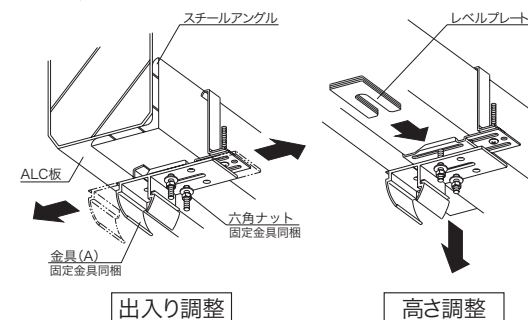
2. 固定金具の取付について

固定金具には位置合わせのためのVミゾがあります。ALC板の前面より50mmの位置にVミゾを合わせると雨切りの前面とALC板の面をそろえることができます。



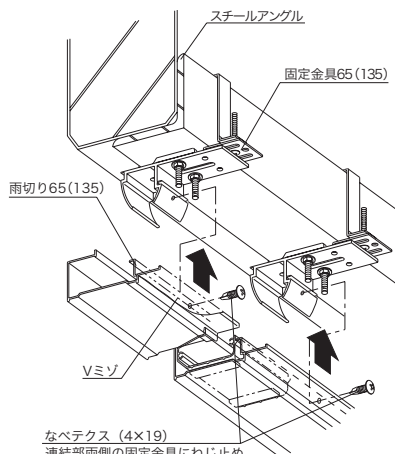
3. 出入り・高さ調整について

六角ナットをゆるめ金具(A)をスライドさせて出入り(前後)の位置調整をしてください。高さ調整が必要な場合は、レベルプレートを差し込んで調整してください。



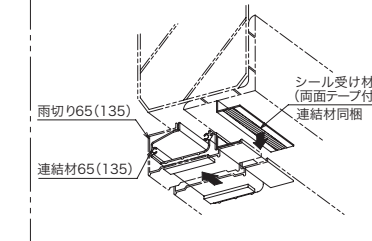
4. 雨切りの取付について

雨切りに連結材を差し込み、雨切り本体を固定金具に押し付けるようにしてはめ込んでください。
注) 調整済みの目地・レベルの移動防止のため、雨切りと固定金具を形材1本あたり2箇所ねじ止めてください。



<連結部>

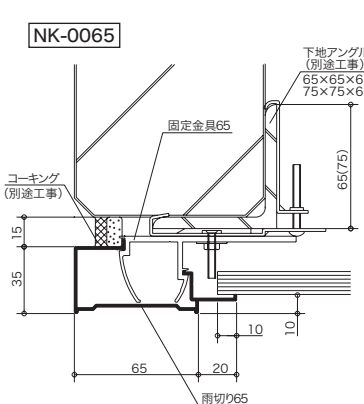
連結部の場合は雨切りかん合後、あらかじめ差し込んでおいた連結材を目地中心部にスライドさせ、同梱のシール受け材を貼り付けてください。



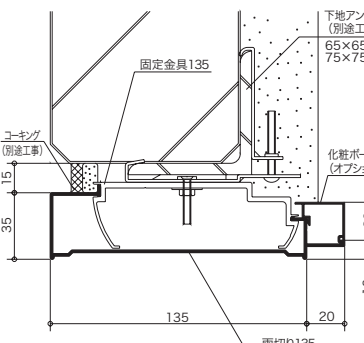
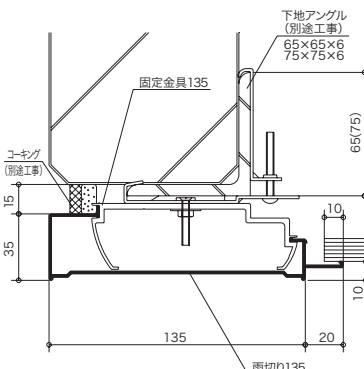
5. コーキング処理

躯体との隙間、雨切りのジョイント目地およびエンドプレート周りには、必ずコーキング処理を施してください。

基準図 縮尺 1/4



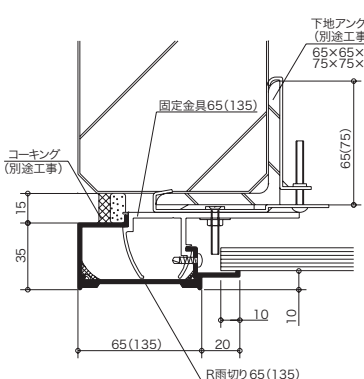
NK-0135



化粧ボーダー使用図(オプション)

注) 化粧ボーダーは雨切り135のみのオプションとなります。

アール部 基準図(受注生産品)



腰水切り

スマートなデザインで、
高い水切り効果を実現。

カラーバリエーション

SK
ツヤ消しシルバー

サイズバリエーション

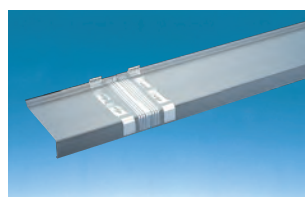
100mm 125mm 165mm 200mm

製品特長

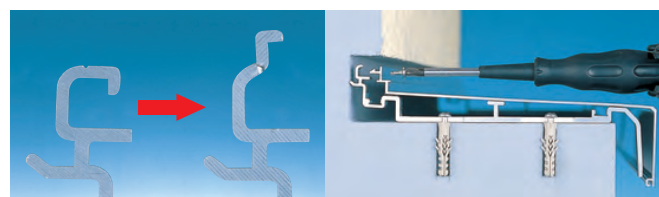
建築の美しさはそのままに、効果的な防水。



● **簡単なかん合方式**
直線部分の取付は、ワンタッチはめ込み方式。



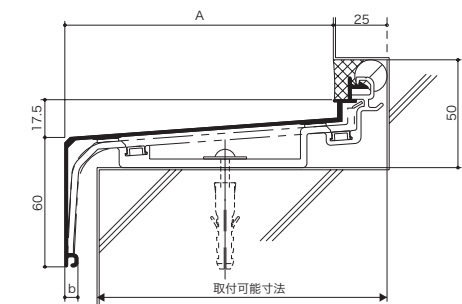
● **ノーシール方式**
温度や気候の変化による伸縮にも対応。



● **独自の施工法**
コーナー部の取付は、固定金具上部をペンチで折り曲げてカットし、その後しっかりとねじ止めます。

● **高い機能性**
高い水切り効果で、建物の外壁をしっかりとガードします。

規格表



単位:mm

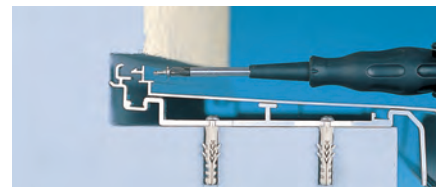
	品名	腰水切り 100	腰水切り 125	腰水切り 165	腰水切り 200
	記号	LK-0100	LK-0125	LK-0165	LK-0200
直線部材	取付可能寸法	115 まで	140 まで	180 まで	215 まで
	A 寸法	100	125	165	200
	b 寸法	6.1	6.3	6.3	6.3
	t(肉厚)	1.3	1.5	1.5	1.7
	定尺	4,000			
コーナー	記号(出隅)	LX0100-D	LX0125-D	LX0165-D	LX0200-D
	記号(入隅)	LX0100-I	LX0125-I	LX0165-I	LX0200-I
	寸法	600×600			

● 躯体のかきこみ寸法はすべて 25mm×50mm とします。
● 躯体の(仕上り)厚さの確認をしてください。
● 水切り幅=躯体厚さ+10mm以上とします。
● コーナー部品は受注生産品(非在庫品)となります。
※詳細についてはもよりの営業所までお問い合わせください。

取付手順



1. 墨出し・穴あけ
墨出し位置にドリルで穴をあけ、専用アンカープラグを打ち込んで埋めます。
注) アンカープラグは防水層の厚み分深く差し込んでください。
使用プラグ 使用ドリル径 穴の深さ 注) 切り粉は必ず 除去してください。
8×40 φ8mm 55mm以上



4. コーナー部の取付
固定金具にコーナーをセットし、専用ねじでしっかりとねじ止めます。



2. 固定金具(連結部)の取付
専用アンカープラグをドリル穴に入れて固定金具をセットし、専用ステンレス製ねじで躯体に取り付けます。連結部では、固定金具間に脱落防止材をはさみ、隙間を100mm取ってください。
注) ねじ頭部分には必ずコーキングしてください。



5. 直線部の取付
腰水切り本体を固定金具に引っ掛け、押し込むようにしてはめ込んでください。

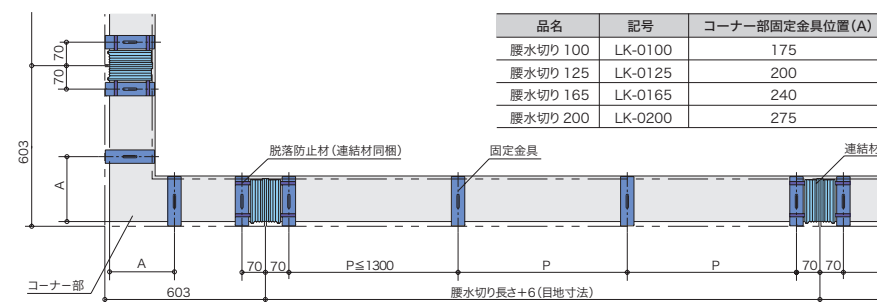


3. 固定金具(コーナー部)の取付
コーナー部の固定金具は、固定金具上部をペンチで折り曲げてカットし、専用ステンレス製ねじで躯体に取り付けます。

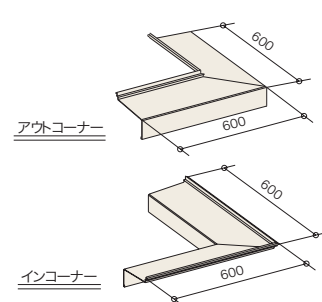


6. コーキング(別途工事)
取り付け完了後、かん合具合を確認し、コーキングすれば完了です。

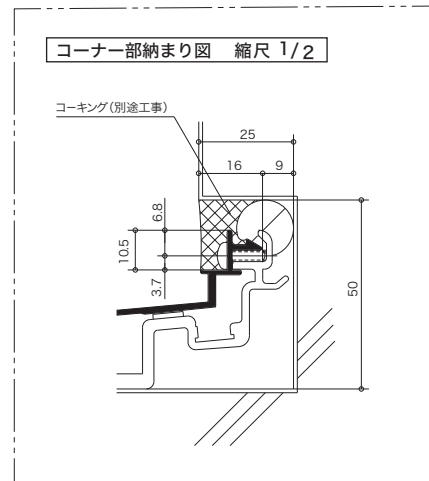
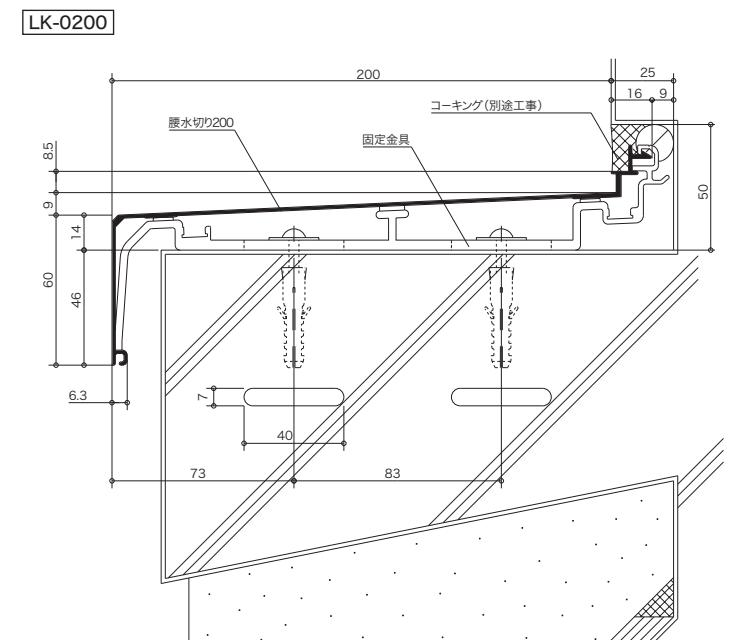
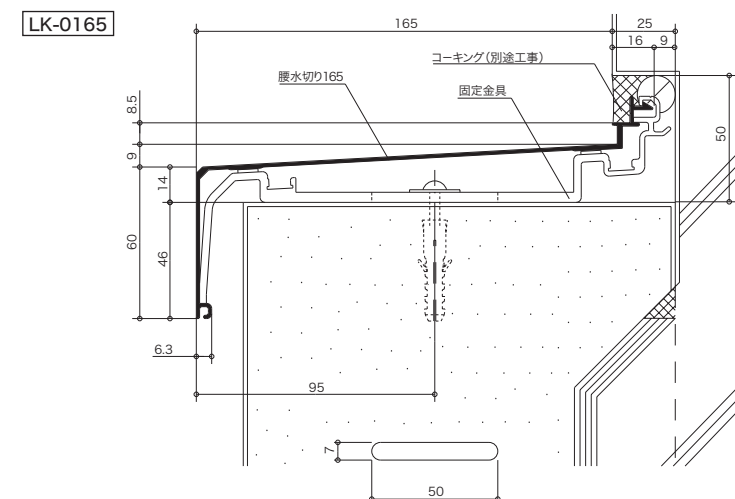
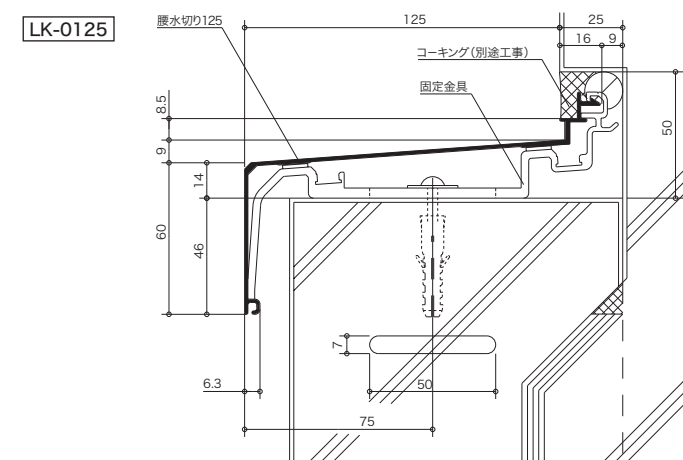
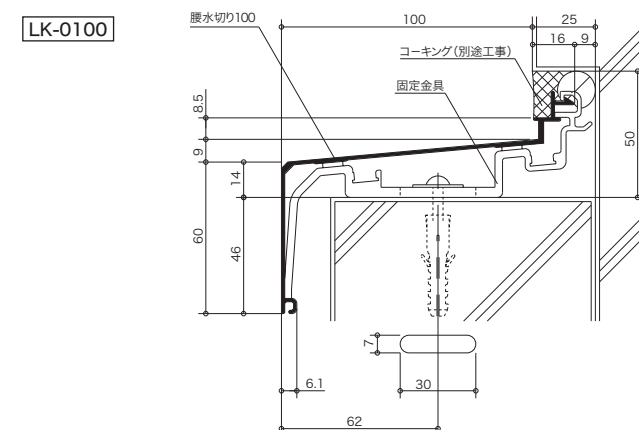
割付



コーナー部品



基準図 縮尺 1/3





防水水切り

建物をしっかりガードする
スマートなデザイン。

カラーバリエーション

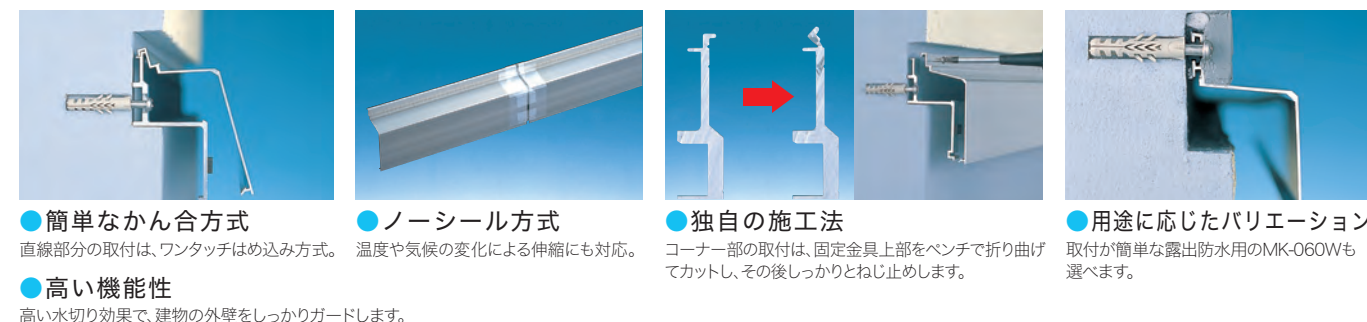
SK UC BD BK KC
ツヤ消しシルバー アーバングレー ツヤ消しブロンズ ダークブロンズ ツヤ消しブラック
※ MK-060W のみ ※ MK-060W のみ ※ MK-060W のみ ※ MK-060W のみ

タイプバリエーション

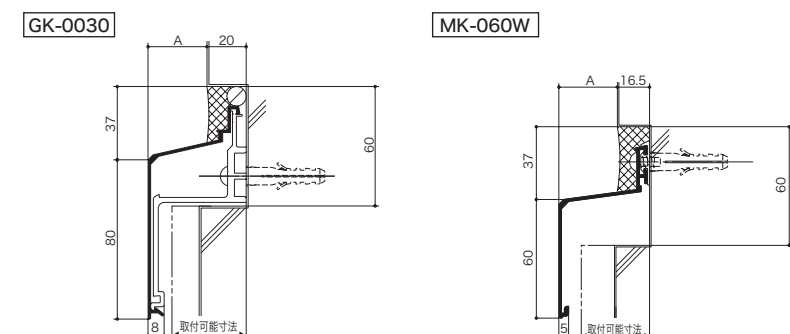
GK-0030 MK-060W

製品特長

ダブル・ワンタッチはめ込み方式で簡単施工。



規格表



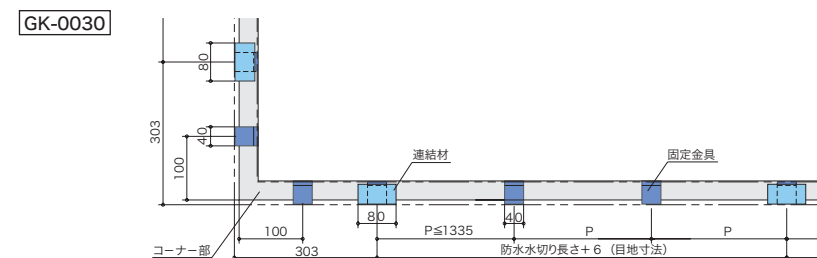
直線部品	品名	防水水切り 30	防水水切り 60
	記号	GK-0030	MK-060W
直線部品	取付可能寸法	40 まで	40
	A 寸法	30	30
	t(肉厚)	1.3	1.3
	定尺	4,000	
	寸法	300×300	400×400
コーナー	記号(出隅)	GX0030-D	MX0060-D
	記号(入隅)	GX0030-I	MX0060-I
	寸法	300×300	400×400

●GK-0030の躯体のかきこみ寸法は20mm×60mmとします。
●MK-060Wは躯体のかきこみがとれない場合にもご使用ください。

取付手順

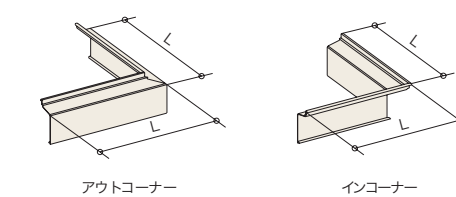


割付

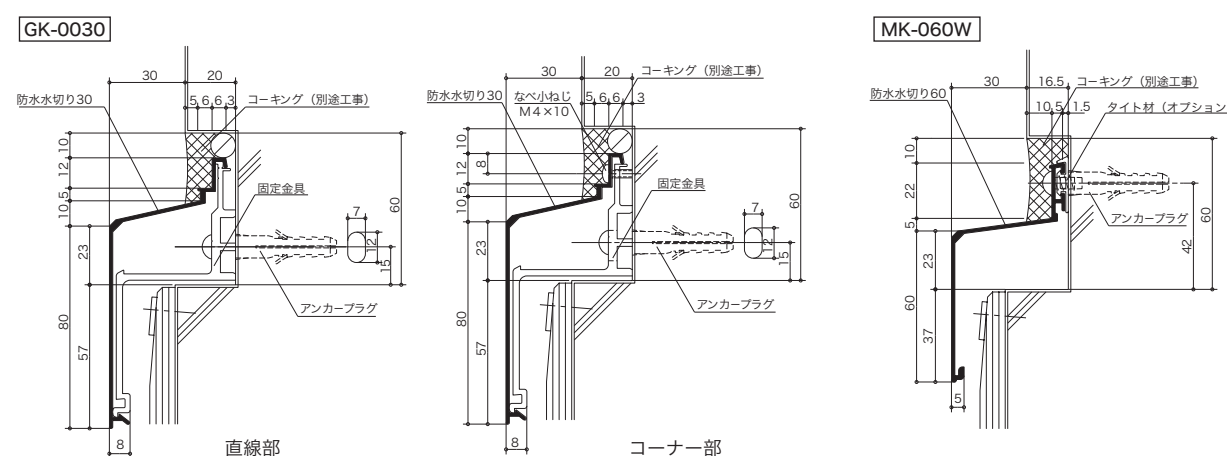


コーナー部品

部品名	記号	規格寸法(mm)
アウトコーナー	GX0030-D	300×300
	MX0060-D	400×400
インコーナー	GX0030-I	300×300
	MX0060-I	400×400



基準図 縮尺 1/3



防水押え

機能的な雨仕舞。軒先などの
雨水を処理します。

カラーバリエーション サイズバリエーション

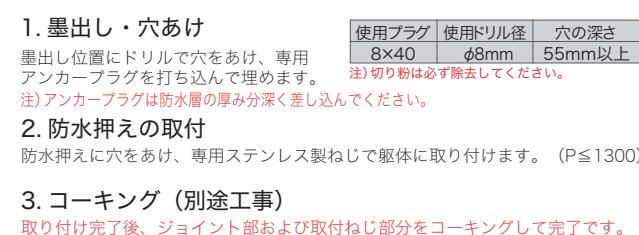
SK BD
ツヤ消しシルバー ツヤ消しブロンズ
※ AL-5011のみ
BK
ダークブロンズ
※ AL-5011のみ

70mm 110mm

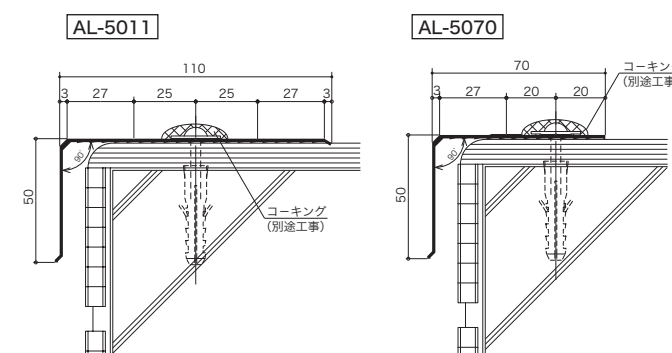
規格表

直線部品	品名	防水押え 110	防水押え 70
	記号	AL-5011	AL-5070
直線部品	W	110	70
	t(肉厚)	1.3	1.4
	定尺	4,000	

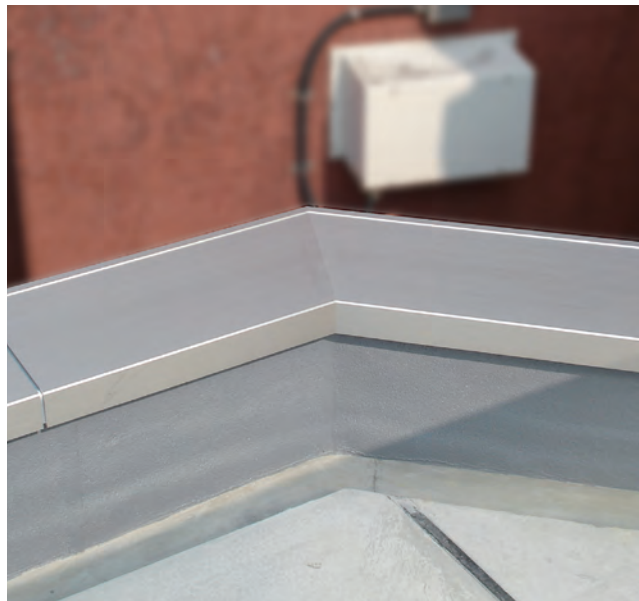
取付手順



基準図 縮尺 1/3



施工事例



製品保証について

本書は、当社の製品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に当社の責任により故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの販売店、工務店、施工店または当社営業所に修理をご依頼ください。

■対象製品

ビニフレーム工業ブランドで販売しているビル用笠木

■保証期間

施工者よりの引渡し日（注）から2年間。
（注）新築注文住宅の場合は施主様、新築分譲住宅（建売住宅）・新築分譲マンションの場合は建築主様への引渡し日とします。

■保証内容

製品のご使用の手引き、表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生し、かつ保証期間内に当社へご連絡をいただいた場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。^{※1}ただし、出張修理の場合は、交通に要する実費を戴く場合があります。なお、当社製品以外の不具合については保証対象外です。
●この製品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される製品については適用しないものとします。
●修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをお知らせください。

・製品名 ・お引渡し日 ・販売店、工務店、施工店（取扱店） ・破損箇所や不具合状態

■免責事項

保証期間内でも、次に例示されるような場合には免責事項となるため有料修理となります。
●当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、ガラス取付工事など）、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など）
●製品のご使用の手引き、表示ラベル、カタログにて記載した使用方法を守らない場合や、禁止されている使用方法をされた場合で、これにより生じた不具合など
●表示された製品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、耐風圧強度、耐積雪量に起因する不具合など）
●当社製品以外の製品が破損した場合
●建築躯体の変形など製品以外に起因する製品の不具合
●製品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化、材料特性に伴う現象（樹脂部分の変質、変色、色あせなど）またはこれらに伴う錆、カビ、またはその他の不具合
●製品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）^{※2}
●天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、豪雪、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波、噴火など）による不具合またはこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
●実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
●犬、猫、鳥、鼠などの小動物またはつるや根などの植物に起因する不具合・虫害
●引渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことに起因する不具合
●お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要部品の取り外しを含む）に起因する不具合
●本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
●犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
●上記に定める他、利用者または第三者の行為に起因して不具合が発生した場合や、自然災害、動植物に起因する場合に限らず、不可抗力に起因して不具合が発生した場合

※1 保証期間経過後にご連絡いただいた場合の修理、交換などは有料といたします。
※2 次のような消耗品は有料になります。

気密材、カバー、キャップ類、合成樹脂製部品など

本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、もよりの当社営業所にお問い合わせください。

「ご使用の手引き」を紛失した場合、また本体表示ラベルが破損した場合は再発行いたします。お気軽に取扱店またはもよりの営業所へご連絡ください。ただし、当該製品の廃止後は、ご容赦いただく場合があります。

【本製品を正しく・安全に設計・施工していただくためのご注意】

- 製品（笠木など）だけで雨仕舞を完璧にすることはできません。躯体天端には、あらかじめ防水処理を施してください。
※防水層は必ず躯体天端まで被せ、防水層と躯体の間には必ずシーリング処理をしてください。
- 躯体天端には防水層のみで、モルタル仕上げはしないでください。ひび割れの原因になります。
- 躯体天端は水平に不陸がないように仕上げてください。不陸が大きい場合は製品を確実に取り付けすることが困難になります。
- 躯体が ALC 板の場合は、製品取付強度を確保するために必ず補強アングルなどを取り付けてください。
- 高層階・強風地域・多雪地域での設置については、製品落下や破損のおそれがあるため、固定金具の取付ピッチを狭く取ったり、固定金具数を増やすなど取付方法が変わる場合があります。もよりの営業所までお問い合わせください。
- 製品の取り付けは、コーナーなどの役所から先に行ってください。
端部にのみ込み箇所のある場合は、他の箇所より優先して取り付けてください。
- 施工後は速やかに養生シートを剥がしてください。時間経過により剥がしにくくなる場合がありますので、ご注意ください。
- 壁面の仕上げ、補修モルタルなどの作業時には、モルタルやセメント粉が製品に付着しないように養生してください。
※万一付着した場合は、すぐに水できれいに洗い流してください。（そのままにしておきますと腐食の原因になります。）
- 製品の小口は鋭利になっている場合があります。取り扱いの際は手を傷つけないよう軍手などの保護具を着用してください。

【安全にご使用いただくためのお願い】

- 落下の危険がありますので、製品の上に乗ったり、身を乗り出さないでください。
製品の上に物を置かないでください。落下の危険や製品破損のおそれが生じます。
- 製品にロープやはしごなどを掛けて荷物の上げ下げをしないでください。製品に破損のおそれが生じます。
- アンテナなどを取り付けたりしないでください。
- 笠木は夏期の直射日光下で表面が高温になり、直接手で触れるとやけどをするおそれがありますのでご注意ください。

【快適にご使用いただくためのお願い】

- 汚れやホコリを長期間放置しておくとしみや劣化、腐食の原因となります。
- 定期的に清掃することをお勧めします。※清掃の目安は少なくとも年に1～2回程度です。
特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

【お手入れをする際のご注意】

- 製品の消毒にはアルコール成分を含む消毒液は絶対に使用しないでください。
アルコール成分を含む消毒液は有機溶剤となり、塗装面や樹脂がアルコールに溶けて変色するおそれがあります。
- 酸性・アルカリ性、塩素系、有機溶剤を含む洗剤は絶対に使用しないでください。
- 金属製ブラシ、金ペラを使用しないでください。表面を傷めます。

〈お手入れ方法〉

- ①表面についた砂やホコリをていねいに取り除きます。
- ②水をかけながら柔らかい布またはスポンジで軽く拭き、表面についた汚れを洗い流します。

〔汚れがひどい場合〕

- ①中性洗剤を水で薄め、柔らかい布またはスポンジで汚れを落とします。
- ②洗剤成分が残らないよう十分に水洗いします。
- ③乾いた布で水分を拭き取ります。

安全に関するご注意

製品を正しく安全にお使い・施工していただくために、下記の点をお守りください。

- 「取付説明書」をよくお読みの上、正しく施工してください。
- ご使用前に「墜落防止手すりユニット ご使用の手引き」をよくお読みください。
- 「墜落防止手すりユニット ご使用の手引き」は施工後、引渡し時にお施主様に必ずお渡しください。

※製品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

※このカタログ中の画像は写真またはCGを使用しています。

※このカタログ中の製品色は印刷の特性上、実際とは多少異なる場合がありますのでご了承ください。

●お問い合わせ、ご用命は



ビニフレーム工業株式会社

本社・工場／富山県魚津市北鬼江616番地

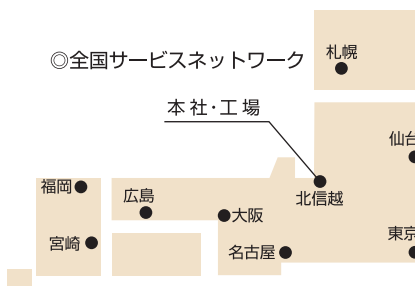


ビニフレームのWEBサイト

製品情報・施工事例・カタログ・CADデータなどの各種情報を閲覧できます。

<https://www.vinyframe.co.jp/>

◎全国サービスネットワーク



本社 TEL 0765-24-1032 FAX 0765-24-1051
札幌 TEL 011-624-5080 FAX 011-633-7088
仙台 TEL 022-288-2141 FAX 022-288-5070
東京 TEL 03-5204-0820 FAX 03-5204-0824
北信越 TEL 0765-55-1208 FAX 0765-55-1206
名古屋 TEL 052-703-8850 FAX 052-703-8234
大阪 TEL 072-645-2626 FAX 072-645-2627
広島 TEL 082-291-8251 FAX 082-291-8260
福岡 TEL 092-541-7771 FAX 092-541-7701
宮崎 TEL 0986-46-5180 FAX 0986-46-5100
インドネシア PT. NIPPON CARBIDE INDUSTRIES INDONESIA
TEL +62-21-897-1177